上内ふれあい

まち協
２３号

発行責任者
上内校区
まちづくり協議会
会長
野田 卓朗

編集
上内校区まちづくり協議会広報部会

令和５年９月13日
発行

上内校区

4年ぶりの夏祭り

校区民が親睦と交流

第七回上内校区夏祭りが八月十九日上内小学校グラウンドで開かれた。夏祭りは新型コロナウイルス感染のため、ここ数年間中止となっていたが、四年ぶりの開催。多くの校区民が来場し、アトラクションや出店を楽しんだ。

まず、開会式があり、永田健一上内小PTA会長が開会宣言、花火が打ち上げられた。その後、関好孝市長があいさつ。関市長は公務のため、他の来賓に先立って来賓あいさつ。

アトラクションは上内小児童たちの合唱、橘中はブラスバンド演奏・橘中のアンコール演奏もあった。そしてマジックショーの披露。この後、主催者挨拶と来賓紹介と来賓代表あいさつが行われた。

主催者挨拶はまち協の野田卓朗会長が述べ、来賓は永川俊彦県議、徳永春男市議会議長、光田茂市議、谷本理佐教育長、平河良教育監、末藤勝士大牟田警察署少年補導員連絡会顧問が来場され、代表して徳永議長があいさつした。

アトラクションは太鼓衆「響」で再開。そして沖縄三線ミーファイユーが演奏。上内小の校長、教頭、児童たちの歌や地元民たちのカラオケ大会、盆踊り、最後は子どもたちを対象としたジャンケン大会が行われた。閉会式は古賀和信まち協副会長が閉会を宣言した。

飲食の出店はコミセン前のテントで行われ、かき氷、生ビール、ハイボール、焼き鳥、からあげ、カレーライス、焼きそば、ジュース、おかし釣り、ピンポンパチンコなどにキッチンカーも三台出て、来場者を楽しませた。



アトラクションを楽しむ校区民の様子



あいさつする野田会長・関市長・徳永議長（右から）



沖縄三線ミーファイユー

アトラクションと出店楽しむ



橘中ブラスバンド



校長と教頭
上内小児童のカラオケ



生ビールを楽しむ校区民

第７回上内校区夏祭り

安心安全に協力を

上内校区社協総会 事業計画説明

上内校区社会福祉協議会（古賀和信会長）総会が六月下旬に上内小学校ふれあいホールで開かれた。役員改選や令和五年度事業計画案などが提案され、原案通り、承認された。

総会では、古賀会長が「まち協と一緒に事業を展開していきたい。地元の安心安全に協力を」と挨拶。上内校区まち協の野田卓朗会長は「コロナが緩和されて色々な事業が実施されています。夏祭りに向けて実行委員会が開かれています」と説明。上内小学校の馬籠秀典校長が「地域の人たちの協力がないと学校運営ができない」と協力を要請。議事は四年度事業と決算の報告、会計監査報告、質疑応答、各部活動報告で民生児童委員・主任児童委員の桑原和子さんが報告。役員改選があり、新役員報告、五年度事業計画、予算案を承認した。

役員は次の通り

会長＝古賀和信
副会長＝野田卓朗
江崎正俊
小原郁夫
会計＝上原與礎一
書記＝木村由佳、廣松忍
募金会評議員＝西山真茂



活動を報告する桑原さん

青少年健全育成と非行防止

上内校区教育力向上推進協
あいさつ運動や交通安全運動など

令和五年度上内校区教育向上推進協議会（総会）が七月十日、上内小学校ふれあいホールで開かれ、事業計画案などを承認。緊急連絡網やあいさつ運動及び防犯活動について確認した。

同協議会は上内校区の青少年健全を目指し、非行防止に努めることを目的に、①青少年健全育成に関する学習及び啓発②青少年の問題行動などの情報交換③校区地域社会の環境浄化④必要に応じて巡回指導、その他（子どもの見守り隊活動を通して、不審者から子ども守る）の事業を行う。

役員は会長一人、副会長三人、会計二人で運営は幹事で行い、事務局は上内小学校に置く。活動計画は総会（七月）幹事会（三月下旬）あいさつ運動、交通安全運動、環境美化活動、啓発活動や補導活動・講演会等の活動、行事（学校・まち協・地域で子ども相撲とふれあい広場）など。

役員は次の通り

会長＝野田卓朗▽副会長＝古賀和信・小原邦夫・馬籠秀典▽書記＝永田健一・西峯幸子▽会計＝境信剛・廣松忍

道路のごみがすっきりきれいになりました

六月四日（日）環境美化の日清掃活動が行われました。午前七時から自宅を出て、公民館までゴミを拾いながら歩きました。空き缶や紙くずなど沢山のごみが集まりました。

おかげで道路のごみがすっきりきれいになりました。お疲れさまでした。



清掃する地域住民たちの様子

道の駅で献血　12人から採血

大牟田市愛の献血推進協議会は七月中旬、毎年恒例となっている上内校区での献血を実施。十三人が会場を訪れ、献血を申し出て十二人から採血した。この日は、午前と午後で献血場所を変更したことと、雨模様だったこともあり、例年より協力者は少なかったものの同推進協はこれからの協力も呼びかけている。

道の駅おおむたでは午後二時から四時までの二時間行われた。



道の駅おおむたで行われた献血

御寄付ありがとうございました

【香典返し】

江崎　宏昭様（椛公民館）

（故）江崎　末人様（六月）

皆様からお寄せいただきた善意は、広く上内校区の社会福祉事業に役立たせています。今後につきましても、上内校区社会福祉協議会への御寄付・御協力のほど、よろしくお願いします。

なお、御寄付につきましては、御連絡いただきますとお伺いします。

（問い合わせ先）

上内校区社協会長　古賀　和信

電話　五八ー三七五一

災害に強いまちへ

排水対策基本計画を策定　市が、まち協に説明

大牟田市は六月下旬に上内校区コミュニティセンターで同校区まちづくり協議会運営委員たちに「大牟田市排水対策基本計画の策定」の取り組みについて説明した。市流域治水対策推進室職員が資料を基に「概ね二十年間を見据えて対策効果の高い事業のロードマップを設定し、計画的に取り組みを進めることとする」と説明した。

同計画は令和二年七月の豪雨で多大な被害が発生したことから、翌月に「大牟田市令和二年七月豪雨災害検証委員会」が設立され、翌年二月に豪雨災害の対応に関する十三の提言書が示され、市はその提言を踏まえ、今後の防災・減災対策の取り組みをまとめた。

提言は①浸水の原因と対策②施設の耐水化③即効性のある浸水対策④市民に対する継続的な情報発信⑤リアルタイム浸水深の情報共有⑥気象の予測⑦ハザードマップの周知と市民参加の災害訓練の実施⑧内水反乱を想定した避難勧告等の発令基準及び避難方法の周知⑨ポンプ場等の施設維持管理業者等を含む防災訓練の実施⑩避難所での対策⑪救助の際の安否確認の方法⑫救急・救助の手段や体制の構築⑬地域の防災活動の活性化。



排水対策基本計画の取り組みについて説明する市職員たち

大牟田市の市街地の多くは干拓により形成された低地状の地形であり、有明海の潮位の影響を受けやすい特徴があり、事業実施中の下水道や河川整備の計画降雨量を上回る場合もある。このような降雨に対する抜本的浸水対策を実施するためには莫大な整備費用や長期の期間を要する事業となることから、提言書では「ハード面での浸水対策には限界がある。」という指摘がされている。これらを踏まえ、市は国の補助を受けながら、概ね二十年間を見据えて計画的に進めるというのだ。

浸水対策は「令和二年七月豪雨のような大規模な災害から市民の生命・財産を守る災害に強いまち」を基本方針に掲げており、今後二十年間の取り組み完了前に次の計画を策定するとしている。

橘　田隈　甘木で再編

学校適正規模・適正配置第二実施計画概要発表

大牟田市教育委員会は七月に「大牟田市立学校適正規模・適正配置計画　第二期実施計画」の概要を発表し、理解を求めている。計画の期間（令和六年度）を延長し、九年度までとした。第二期は中学校の再編で再編後の学校位置は、橘・歴木・白光・松原の三校、松原は夜間中学の設置の検討は継続。通学区域の見直しも行う。

具体的には第一段階（七年四月）で橘と田隈（銀水）が再編され橘に、歴木と田隈（羽山台・三池）に再編され、歴木に。第二段階（九年四月）に橘と甘木（倉永）で橘、歴木と白光（白川）で歴木に、白光（明治）と甘木（手鎌）で白光に再編される。通学区域で小川町は九年度から大正小に、宅峰中から松原中に見直される。

新しい中学校名（案）でアンケート調査

橘・田隈・甘木中学校再編協議会（会長・大向智樹橘中学校長）は橘・田隈・甘木中学校名案のアンケートを実施。対象は再編される三校や区域内の小学校関係者や住民等。締め切りは九月十九日まで。各中学校や電子アンケートで回答すること。